



東日本研修センターのトピックス

研修部



東日本研修センターでは研修各専門分科会を中心に、研修実施後の評価・改良、業界を取り巻く環境の変化にタイムリーに対応するべく取り組んでいます。今回はそれらの中からトピックスをお伝えします。

(1) 安全専任者研修科（ブラッシュアップ）

今年度から安全専任者向けに、日頃の行動を振り返りスキルをさらに高めてもらうことを目的にブラッシュアップ研修を新設し10月に実施しました。本研修は施工現場での気づきやセルフモチベーション向上を促すべくコミュニケーション能力、問題解決力等の課題に取り組みます。特にコミュニケーション能力は、日常的なパトロール等にて作業班との声掛けKYを円滑に進める上でのキーとなりますが、中には苦手な人もおり、受講生からは実際の演習（写真1）を通じて体得できたと好評でした。

当日、西日本安全分科会のメンバーが研修を視察するとともに、研修終了後に講師から各方面で声掛けKYの積極的な取り組みが展開され効果を上げているとの話に一同熱心に傾聴していました。

(2) フルハーネス型墜落制止用器具に関する特別教育

高所作業における安全装備として、安全帯からフルハーネス型墜落制止用器具（写真2）に変更する政省令改正が2019年2月1日に施行（完全施行日は2022年1月2日）されます。これに伴い高さ2m以上でフルハーネス着用の作業者は全員が特別教育を受けることが義務付けられます。東日本研修センターでは、大変多くの施行者等への特別教育を円滑に実施できるよう、まずは各社のインストラクタ養成を目的に2019年1月末より3月

までの期間において約400人規模の研修を急ぎょ計画しました。カリキュラム（表1）は法令に準拠するとともに、各社での教授のポイントを加えた構成としています。

また、来年度の基礎研修線路科・土木科、危険体感研修においてもフルハーネスを前提としたカリキュラムの変更、充実を図る予定です。

(3) 基礎研修カリキュラムの見直し

今年度から基礎研修電力科・所内科・統合科等において実施されていた低圧電気取扱者特別教育の座学を別研修として独立させ、実習（写真3）を加えて法令に即した時限・内容にしたところ、250名以上が受講され、とても好評でした。

基礎研修線路科は、従来アクセス施工を中心とした内容としてきましたが、業界全体として複合技術スキル化に取り組んでいることから、来年度に向けては設計基礎および宅内開通実習等のカリキュラムを加え内容を充実します。

また、基礎研修土木科については、実習として長年構内に人が入らずに管路布設するSAPIC工法を実施してきました（写真4）が、昨今の通信土木工事で一般的に

表1 フルハーネス特別教育カリキュラム

科 目		時 間	
学 科	I 作業に関する知識	1	6
	II 墜落制止用器具に関する知識	2	
	III 労働災害の防止に関する知識	1	
	IV 関係法令	0.5	
実 技	V 墜落制止用器具の使用法等	1.5	



写真1 安全専任者ブラッシュアップ研修模様



写真2 フルハーネスの装着状態



写真3 低圧電気取扱者特別教育科研修模様



写真4 基礎研修土木科研修模様

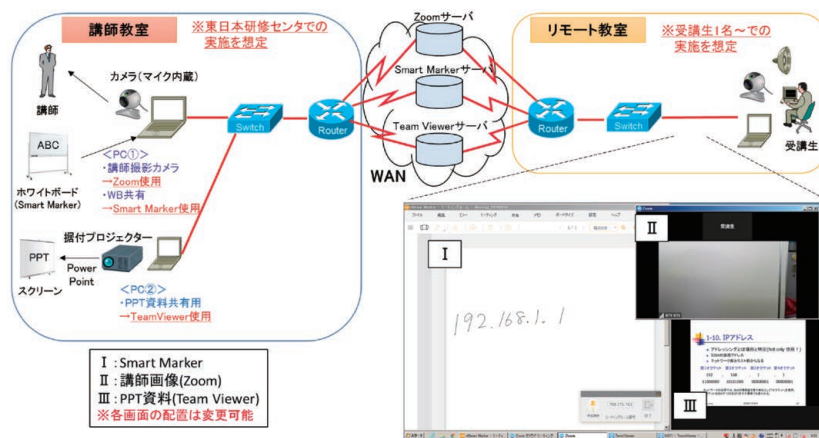


図1 簡易版リモート研修イメージ

用いられる工法、用具を取り入れるべく見直し中です。

(4) 遠隔研修の試行拡大

遠隔地の事業所、事務所で働く方にとって、ITEA実施の研修受講は移動時間と費用が大きな負担になっています。そこで遠隔会議ツール等を活用しネットを通じてどこからでも、1名でも受講可能なりモート研修実現に取り組んでいます。

図1に実施イメージを示します。受講者は、講師（カメラ映像）、テキスト（パワーポイントファイル）、ホワイトボード（スマートマーカ）の3画面を1台のPC画面上に表示して受講します。2019年度において下記研修を対象に試行予定で、結果を受けて拡大していきたいと考えています。

- ・所内保守業務研修科（NGN装置概要）〈リモート〉1日
- ・電気通信主任技術者試験対策研修科（伝送交換）〈リモート〉1日
- ・無線技術基礎研修科〈リモート〉1日
- ・移動無線通信技術研修科（IMT-2000）〈リモート〉1日
- ・固定無線・衛星通信技術研修科〈リモート〉1日
- ・5G基礎技術研修科（概要）〈リモート〉1日

また、東西研修センタの研修環境を利用しつつ、東日本研修センタの講義を遠隔ツールにより西日本研修センタのサテライト教室とを結び一体的に研修する仕組みも試行予定で、来年度受講ニーズ調査の結果から対象研修コースを決定します。

(5) 宅内研修コース、カリキュラムの見直し

NTT東日本様の協力を得て、来年度からビジネスホンの設計調査業務、ビジネスルータ、無線LAN施工、保守研修の充実を図るべく取り組んでいます。NTT東日本様は、多くのビジネスホンユーザへの円滑な機器リ

プレース、局線の光化等を円滑に進めるべくPエリアにおけるこれら調査業務を当業界に発注しており、これらのスキル者拡充を期待しています。そこで、研修においてはビジネスホンαA1系研修の中に模擬環境を活用した調査業務の流れ、調査ポイント、報告様式作成等の演習を組み入れる予定です。

また、NTT東日本様は、法人ユーザへのソリューション工事・保守の内製化等に取り組まれていることから、当業界でも主力ソリューションであるルータ、無線LAN等の工事・保守に関し下記の研修を新設予定です。

- ・ビジネス系ルータ研修科（施工）
- ・ビジネス系ルータ研修科（設計・Config）
- ・ビジネス系ルータセキュリティ研修科（Juniper）
- ・ビジネス系ルータセキュリティ研修科（Fortigate）

(6) 土木分科会活動

今年度から基礎研修土木科を含む土木系9コースについて、東日本研修センタにて一元的に実施しています。過去に西日本研修センタではニーズが少なく、研修未成立が度々発生したこと、東日本研修センタの土木実習環境が充実していることから東西の土木分科会で調整し実施に移したものです。その結果、東西研修センタ合わせた土木系研修受講者は360名、対前年15名増となりました。土木工事については比較的NTT東西様の規格、工法等が共通することから迅速に結果を出すことができました。

研修は上期に約6割が実施され下期に入るとすぐに次年度研修計画の策定に入ります。来年度に向けてはこれら取組みに加え、下期実施の研修評価結果・課題を踏まえさらに質の高い研修とするべく活動していきます。